



# ライブツィヒ音楽軌道

ライブツィヒをめぐる音楽の絆  
一歩ずつ音楽をたどって





ぼくがトニーだよ!



# ライブツィヒ音楽軌道協会

ライブツィヒは数多くの著名な音楽家を育んだ都市として世界的に知られています。「ライブツィヒ音楽軌道」をたどること  
で、G.Ph.テレマン、J.S.バッハ、A.ロルツィング、F.メンデルスゾーン、R.シューマン、R.ワーグナー、E.グリーク、L.ヤナーチェク、G.マーラー、M.レーガー、E.シュルホフなど、多くの音楽家たちと出会うことができます。

「ライブツィヒ音楽軌道協会」は都市の散策と音楽体験の魅力的な結びつきを通じて、みなさまに音楽的文化遺産を体験していただけるよう活動を行っています。

## 音色の足跡コース (Leipziger Notenspur)

音色の足跡コースは、歴史的な中心市街地に散在する音楽的に重要なみどころを結ぶ約5kmの道のりです。特にバロックやロマン派の音楽家の家、演奏会場を含んでいます。

## 計画中のプロジェクト

現在2つの新たなプロジェクト「音色の銀輪コース(Leipziger Notenrad)」と「音色の弧線コース (Leipziger Notenbogen)」が進行中です。詳細はウェブサイト [www.notenspur-leipzig.de](http://www.notenspur-leipzig.de) またはガイドブック「Leipziger Notenspur-Auf Notenspur, Notenbogen und Notenrad - Streifzüge durch die Musikstadt」を御覧ください。

## プロジェクトへのサポート - 音楽都市の鼓動

「ライブツィヒ音楽軌道」は市民運動として生まれ、情熱を持ったボランティアたちによって運営されています。多くのライブツィヒ市民がアイデアと経験を持ち寄ることで、プロジェクトは多様なものとなっています。音楽、観光、そして市民プロジェクトとしての「ライブツィヒ音楽軌道」の後ろには、ライブツィヒ音楽大学、ライブツィヒ観光・マーケティング有限公司、ライブツィヒ市行政を始めとした、音楽関係の協会、団体、個人の大きなネットワークが存在しています。トーマスカントルのゲオルグ・クリストフ・ビラー、ゲヴァントハウスオーケストラ楽長のリッカルド・シャリー、ライブツィヒ歌劇場ディレクターのウルフ・シルマー、MDR交響楽団首席指揮者のクリスチャン・ジェルヴァーらもプロジェクトをサポートしています。

[www.notenspur-leipzig.de](http://www.notenspur-leipzig.de)

## お子様へ

マスコットのトニーと一緒に足あと探しをしてみましょう。「ライブツィヒ音楽軌道 - 探偵手帳」をライブツィヒ・ツーリストインフォメーション( ① 住所: Katharinenstrasse 8)などにご用意しております。

## みちしるべとオーディオガイドシステム

各チェックポイント同士をつなぐ歩道に埋め込まれたステンレス製の波のオブジェクトがみちしるべです。「音楽軌道」の各チェックポイントには、インフォメーションパネルが設置されています。音楽そのものを体験できるよう、オーディオガイドシステムも備わっています。電話(市内通話)で各ポイントの案内と音楽を聴くことができます。またスマートフォンやiPhoneをお持ちであれば、「音符の軌跡アプリ」をご使用いただけます。

## 世界遺産 - ライプツィヒ音楽軌道イニシアチブ協会

ライブツィヒで活動していた著名な作曲家の音楽は、世界的な重要性をもっています。ライブツィヒ市はザクセン州のサポートを得て、他の8箇所の場所と共に「音楽軌道」のユネスコ世界文化遺産リスト登録を目指して活動しています。

## パートナー・協力団体



「旧市役所」(ポイント13番)から「トーマス教会」(17番)までの道のり(青で示されているルート)の経済的サポート



音楽軌道の構想は「ライブツィヒ音楽軌道協会」によって行われた



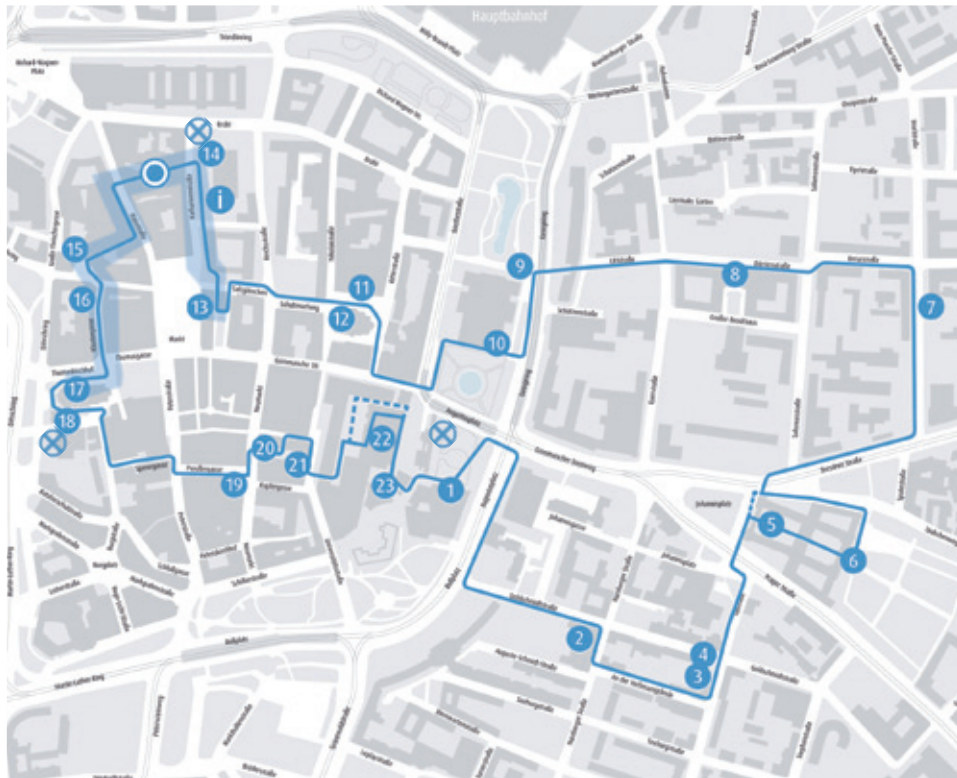
みちしるべとオーディオガイドシステムの  
実現は、「音楽軌道支援協会」とザクセン州の  
助成をうけてライブツィヒ市が行った



「音楽軌道」「音色の弧線コース」「音色の銀輪コース」「音符のシーン」は全て商標登録である。商標権者は「音楽軌道支援協会」の発起人であるヴェルナー・シュナイダー教授である



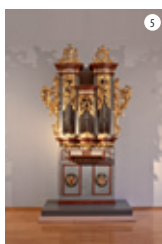
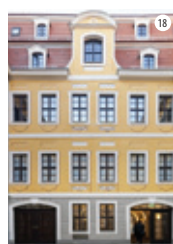
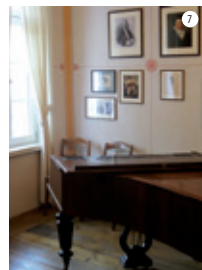
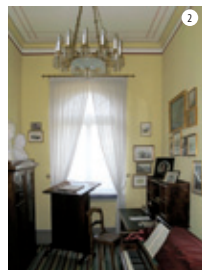
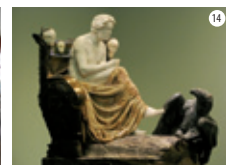
## 音色の足跡コース チェックポイント



- 1 Neues Gewandhaus / ゲヴァントハウス・コンサートホール
- 2 Mendelssohn-Haus / メンデルスゾーン・ハウス
- 3 Grieg-Begegnungsstätte / グリーグ記念室
- 4 Ehemalige Musikbibliothek Peters / 旧ペータース音楽図書館
- 5 Museum für Musikinstrumente / グラッシェ楽器博物館
- 6 Alter Johannisfriedhof / 旧ヨハニス墓地
- 7 Schumann-Haus / シューマン旧宅
- 8 Grafisches Viertel – Musikverlage / 印刷地区
- 9 Wagner-Denkmal / ワーグナー胸像
- 10 Oper Leipzig / ライプツィヒ歌劇場
- 11 Alte Nikolaischule / 旧ニコライ学校
- 12 Nikolaikirche / ニコライ教会
- 13 Altes Rathaus / 旧市庁舎
- 14 Museum der bildenden Künste – Beethoven / ライプツィヒ造形美術館
- 15 Zum Arabischen Coffe Baum / カフェ・バウム
- 16 Hôtel de Saxe / ホテル・デ・サクセ跡
- 17 Thomaskirche / トーマス教会
- 18 Bach-Museum / バッハ博物館
- 19 Standort Geburtshaus Clara Wieck / クララ・ヴィーク生家跡\*
- 20 Standort Altes Konservatorium / 旧音楽院跡\*
- 21 Standort Erstes Gewandhaus / 織物倉庫《ゲヴァントハウス》跡\*
- 22 Paulinum – Aula und Universitätskirche St. Pauli / ライプツィヒ大学パウリナー教会
- 23 MDR-Kubus - Rundfunkklangkörper / MDRキューブ

- ① ツーリストインフォメーション  
 ● 音のインсталレーション - 3世紀の都市の音  
 ⊗ 基点 - インフォメーション・ポイント

\* 現存しない歴史的建造物



## 音色の足跡コース チェックポイント

### 01 Neues Gewandhaus /

#### ゲヴァントハウス・コンサートホール

ゲヴァントハウス管弦楽団の本拠地。楽団の起源は1743年まで遡る。メンデルスゾーン、ニキシュ、フルトヴェングラー、マスアラが楽長（常任指揮者）を務めた。1981年に完成した当ホールでの定期演奏会のほか、ライプツィヒ歌劇場・トーマス教会でも各公演の伴奏を担当する。音楽の街を代表する存在として、ライプツィヒの国際的な名声を支える。

Augustusplatz 9, 04109 Leipzig, ☎0341/1270280

ホワイエの見学: 月～金 10～18時、土 10～14時

### 02 Mendelssohn-Haus / メンデルスゾーン旧宅

作曲家F.メンデルスゾーン（1809～1847）の1845～47年の家、そして終焉の場所。家族と共に建物2階の一角に住んだ。ヨーロッパ中で活躍したメンデルスゾーンの各地の旧宅の中で唯一現存。長年にわたるゲヴァントハウス楽長、そしてライプツィヒ音楽院の創立者を讃え、内部は世界で唯一のメンデルスゾーン博物館として公開。音楽サロンでは毎週コンサートが開催される。

Goldschmidtstraße 12, 04103 Leipzig, ☎0341/962882-0

毎日 10～18時、コンサート 日曜 11時

### 03 Grieg-Begegnungsstätte / グリーク記念室

『ペール・ギュント 第1組曲』作曲の地。建物は1800年創業の音楽出版社ベータースの本部。ノルウェー国民楽派の作曲家エドヴァルド・グリーク（1843～1907）はライプツィヒ音楽院出身で、ベータース所有者と親交を結び、生涯にわたって妻ニーナと共にこの場所を訪れた。現在2階部分をグリーク記念室として公開。庭の木陰にはグリークの首像が佇む。

Talstraße 10, 04103 Leipzig, ☎0341/9939661

金 14～17時、土 10～14時、日 11～14時

### 04 Ehemalige Musikbibliothek Peters /

#### 旧ペータース音楽図書館

かつてペータース音楽図書館が置かれていた建物（内部非公開）。隣接する音楽出版社ペータースによって1894年開館。世界初の一般の利用も可能な音楽専門図書館。その貴重なコレクションはライプツィヒ市立図書館へと受け継がれる。バッハ、ハイドン、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、グリーグなどの、約500部の自筆稿コレクションが特に重要。

Goldschmidtstr. 26, 04103 Leipzig

### 05 Museum für Musikinstrumente / グラツシイ楽器博物館

ドイツ最大規模、世界でも屈指の楽器コレクション。多くの音楽家が学んだことでも知られるライプツィヒ大学の附属博物館で、現在地にはグラツシイ博物館の楽器部門として1929年開館。16世紀から現代までの、工芸的、美術的、実験的なあらゆる楽器を収蔵。世界に9台しか現存しないピアノの発明者バルト・メオ・クリストフォリ製作の鍵盤楽器を5台所有。

Johannisplatz 5-11, 04103 Leipzig, ☎0341/9730750

火～日・祝日 10～18時

### 06 Alter Johannisfriedhof / 旧ヨハニス墓地

かつての市の中央墓地。三角形のヨハニス広場にはかつてヨハニス教会が建ち、周囲にこのヨハニス墓地が設けられた。バッハも1750年にここに葬られた（後に移設）。古い区画部分には現在グラツシイ博物館が建つ。現在まで残る奥の区画では、ライプツィヒ生まれの作曲家R.ワーグナーの母ヨハンナと姉ロザリーの墓標を見学することができる。

3月～10月 毎日 10～18時 / 11月～12月 毎日 10～16時

### 07 Schumann-Haus / シューマン旧宅

音楽家夫妻ロベルト・シューマン（1810～1856）とクララ・シューマン（1819～1896）の新婚時代の家。1840年の2人の結婚式翌日から1844年の間、建物の2階部分に住んだ。ロベルトの「歌の年」「交響曲の年」の舞台。メンデルスゾーン、リスト、ワーグナー、アンデルセンらが訪問した。現在は博物館として公開され、演奏会も行われる。

Inselstraße 18, 04103 Leipzig, ☎0341/3939620

月～金 14～18時、土日 10～18時

### 08 Grafisches Viertel – Musikverlage (Notenwand) / 印刷地区

かつて音楽出版社が軒を連ねた一角。「印刷地区」と呼ばれた市街東部には、かつて印刷・製本・出版に関するあらゆる施設が集まっていた。世界初の音楽出版社ブライトコプフは1719年にライプツィヒで創業。ベートーヴェン『運命』『田園』交響曲初版をはじめ、数々の名譜がここで生まれた。しかし、第二次大戦時の空爆によってかつての「出版の聖地」は失われた。

Großer Brockhaus/Dörrienstraße, 04103 Leipzig

### 09 Wagner-Denkmal / ワーグナー胸像

ライプツィヒ出身の作曲家リヒャルト・ワーグナー（1813～1883）を記念する像。1813年5月22日に生誕、8月16日にトーマス教会で洗礼を受けた。1828～30年にニコライ学校で、続く1831～32年にはトーマス学校で学ぶ。ライプツィヒ大学では音楽を専攻。初代ゲヴァントハウス・コンサートホールでは1862年に彼自身の指揮で『序曲「ニュルンベルクのマイスタージンガー」』の初演が行われた。中心街・ブリュール通り沿いの生家は1886年の再開発により失われた。

Georgiring

### 10 Oper Leipzig / ライプツィヒ歌劇場

ヨーロッパで3番目に古い歴史を持つ市民歌劇場。1693年に市立音楽劇場として開館。1868年に現在地に新劇場が設けられ、1878年にはバイロイト祝祭劇場以外で初となるワーグナー『ニーベルングの指環』の完全演奏の地となる。現在の歌劇場は東ドイツ時代の最初かつ唯一の劇場建築。トーマス教会、ゲヴァントハウス・コンサートホールと並ぶ音楽の街を代表する舞台で、バロックから現代作品まで毎シーズン約300回の公演が行われる。

Augustusplatz 12, 04109 Leipzig, ☎0341/12610

ツアーの申し込み: [www.oper-leipzig.de](http://www.oper-leipzig.de)

## 11 Alte Nikolaischule / 旧ニコライ学校

かつての市の中央墓地。三角形のヨハニス広場にはかつてヨハニス教会が建ち、周囲にこのヨハニス墓地が設けられた。バッハも1750年にここに葬られた(後に移設)。古い区画部分には現在グラッシィ博物館が建つ。現在まで残る奥の区画では、ライプツィヒ生まれの作曲家R.ワーグナーの母ヨハンナと姉ロザリーの墓標を見学することができる。

Nikolaikirchhof 2, 04109 Leipzig, ☎0341/2118518  
火～木・土日 12～17時

## 12 Nikolaikirche / 旧ニコライ学校

リヒャルト・ワーグナーの通った学校。現在は彼の知られざる青年時代を紹介するワーグナー展が行われている。建物内に1512年から1872年まで市立ニコライ学校が置かれ、上階には当時ワーグナーが音楽の授業を受けた講堂が残る(通常非公開)。勉学より劇作に熱中するなど、模範的な生徒ではなかったと後に自叙で回顧している。ワーグナーの生地ライプツィヒにおける、彼ゆかりの数少ない遺構。

Nikolaikirchhof 3, 04109 Leipzig, ☎0341/1245380  
月～土 10～18時、日: 礼拝 9:30、11:15、17:00

## 13 Altes Rathaus / ニコライ教会

市の中央教会で、トーマス教会と並ぶバッハ活躍の舞台。両教会の音楽を担当し、市の音楽活動を統括するトーマス教会音楽監督となった1723年、5月30日のニコライ教会礼拝が彼にとってライプツィヒでの初めての仕事となった。1724年に『ヨハネ受難曲』、1734～35年に『クリスマス・オラトリオ』をここで初演。1903年製のザクセン地方最大・ドイツ有数のパイプオルガンがある。

Markt 1, 04109 Leipzig, ☎0341/9651320  
火 日、祝日 10 18時

## ① ライプツィヒ ツーリスト・インフォメーション

Katharinenstraße 8, 04109 Leipzig ☎0341/7104260  
月～金 9:30～18:00、土 9:30～16:00、日・祝日 9:30～15:00

## 14 Museum der bildenden Künste – Beethoven / ライプツィヒ造形美術館

当地出身の彫刻家マックス・クリンガー作の『ベートーヴェン像』(1902年完成)を展示。これは美術史上、音楽を題材とした作品の傑作に数えられる。1918年、徳島県坂東収容所における『第九』日本初演時のプログラム表紙にも当像のデザインが使用された。レーガーやラフマニノフが音楽的着想を得たアルノルト・ベックリンの『死の島』(1886)も収蔵。

Katharinenstraße 10, 04109 Leipzig, ☎0341/216990  
火10～18時、水12～20時、木～日・祝日 10～18時

## ◎ 音のインスタレーション

Kretschmans Hof - KatharinenstraßeとHainstraßeの間にある通り道で、3世紀の音楽と都市の音のインスタレーション「音のシャワー」をお楽しみいただけます。

## 15 Zum Arabischen Coffe Baum / カフェ・バウム

1720年以降の伝統を持つドイツ最古のコーヒー店。コーヒー店は市民音楽文化の舞台として重要な役割を果たす。テレマンは合奏団コレギウム・ムジクムの演奏会を行い、バッハはこの飲み物を題材に『コーヒー・カンタータ』を創作した。カフェ・バウムは、そうした市民文化を育んだコーヒー店が当時の姿のまま残る大変貴重な例。常連として通ったシューマンの指定席も残る。

Kleine Fleischergasse 4, 04109 Leipzig, ☎0341/9610060  
ミュージアム併設、毎日 11～19時

## 16 Hôtel de Saxe / ホテル・デ・ザクセ跡

作曲家モーツァルトの妻コンスタンツェ、そしてフレデリック・ショパンらが宿泊したホテル跡。コンスタンツェは滞り、亡夫の絶筆『レクイエム 二短調』の1796年4月のライプツィヒ初演に合わせ、手中にその総譜を携えていた。ホテル内の広間では1809年には世界最古の弦楽四重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団の最初の公開演奏会も行われた。建物は失われたが、入口部分が戦後復原された。

Klostergasse 9, 04109 Leipzig

## 17 Thomaskirche / トーマス教会

トーマス教会少年合唱団とヨハン・セバスチャン・バッハゆかりの教会。1212年にトーマス修道院として創建され、同時に少年合唱団の歴史が始まる。バッハは1723年から死を迎える1750年まで、トーマス教会音楽監督(トーマスカントル)として奉職。『マタイ受難曲』初演の場所。内陣にバッハの墓所があり、毎日のように奏でられる自身の音楽を聴きながら彼はここで永遠の眠りにつく。

Thomaskirchhof 18, 04109 Leipzig, ☎0341/222240  
毎日9～18時、コーラス: 金18時、土15時  
(夏季休暇期間を除く)

## 18 Bach-Museum / バッハ博物館

ヨハン・セバスチャン・バッハを顕彰する場所。博物館を設置しているバッハ資料財団はバッハについての膨大な資料を研究。展示ではライプツィヒ時代の彼の生活の模様だけでなく、バッハ一族の全体像にも光を当てる。バッハの曲の楽器ごとの音色を聴いたり、タッチパネルに触れて楽譜や写真を動かしたり、体験して楽しむ施設。館内にあるバロック様式の「夏の広間」ではコンサートも開催される。

Thomaskirchhof 15/16, 04109 Leipzig, ☎0341/9137200  
火～日 10～18時

## 19 Standort Geburtshaus Clara Wieck / クララ・ヴィーク生家跡

後の著名ピアニスト、クララ・シューマンの生家跡。1819年9月13日、クララ・ヴィークとしてこの場所にあった家で生まれた。その後、一家は市内の複数の家を転居。ピアノ教師であった父フリードリヒ・ヴィークから厳しい教育を受けたクララは、天才女流ピアニストとしてヨーロッパ中で絶賛されることになる。父に師事したロベルト・シューマンと知り合い、1840年結婚。既婚姓シューマンとなり、新たな住まい(現「シューマン旧宅」)へと居を移した。建物は二次大戦で焼失。

Preußergäßchen, Ecke Neumarkt, 04109 Leipzig



## 20 Standort Altes Konservatorium / 旧音楽院跡

ドイツ初の音楽院創立の地。ライプツィヒ音楽院は今日のドイツにおける最初の音楽大学としてゲヴァントハウス楽長メンデルスゾーンによって創設され、1843年4月2日にこの場所にあった建物内に開校した。数年のうちにヨーロッパ諸国、そしてアメリカ合衆国から学生が集まるようになる。この時代の代表的な学生としてグリーグ、ヤナーチェクが挙げられる。1887年に市街南西の現校舎へと移転し、旧校舎は後に取り壊された。

Städtisches Kaufhausの中庭  
Universitätsstraße 16 または Neumarkt 9から入る

## 21 Standort Erstes Gewandhaus / 織物倉庫《ゲヴァントハウス》跡

ゲヴァントハウス管弦楽団最初のホール。15世紀築の通商用の織物倉庫(ドイツ語名:ゲヴァントハウス)が1781年に音楽用ホールへと改装され、1743年完成の市民楽団「大音楽会」の本拠となる。ここで行われる演奏会は「ゲヴァントハウス・コンサート」と呼ばれるようになり、同時に楽団も「ゲヴァントハウス管弦楽団(織物倉庫管弦楽団)」という名称が定着した。1894年に建物は取り壊され、市立商館という世界初の見本市専用施設が建設された。

Universitätsstraße 16, Städtisches Kaufhaus, 04109 Leipzig

## 22 Paulinum – Aula und Universitätskirche St. Pauli / ライプツィヒ大学パウリナー教会

ライプツィヒ大学の附属教会。旧堂はバッハのモテット『聖霊は我らの弱きを助けたもう』の初演、メンデルスゾーンの告別式など重要な音楽史の舞台であり続けた後、東ドイツ時代の1968年に政治的理由から爆破解体された。復原議論の末、現代建築によって「講堂・兼大学教会」として再建されることが決定。大学合唱団・管弦楽団など、大学音楽文化の新たな拠点となる。

Augustusplatz, 04109 Leipzig

## 23 MDR Würfel – Orchester und Chöre des MDR / キューブ

中部ドイツ放送(MDR エム・デー・エア)音楽スタジオ(通常、内部非公開)。シティー・ビルの下下に建つ、2001年完成の黒く直線的な外観が印象的。中部ドイツ放送(MDR)交響楽団は1924年創設のドイツ最古の放送管弦楽団で、現在まで楽団・合唱団・児童合唱団とも水準の高さで国内外に広く知られる。その拠点としてここには楽器庫・楽譜庫・練習場・録音スタジオが置かれる。

Augustusplatz 9a, 04109 Leipzig, ☎0341/3008732

写真: Franziska Domschke (一部), Sven Winter, Bernhard Moosbauer, Werner Schneider, Sepp Beck

デザイン: Moosbauer & Huennerkopf Kommunikationsdesign  
(www.moosbauerhuennerkopf.de)

## ライプツィヒ音楽軌道へのご参加・ご支援をお待ちしております

皆様からの新たなアイデア、ご提案、そしてボランティアとしてのご参加を常にお待ちしております。また「音楽軌道プロジェクト」の実行と形成のため、皆様からの寄付金もお待ちしております。そして「ライプツィヒ音楽軌道支援協会」の会員となることで、プロジェクトをご支援いただけます。



### 連絡先:

Notenspur-Förderverein e. V.  
Ritterstraße 12, Zi. 201, 04109 Leipzig  
☎ 0341/9733741

Email: mail@notenspur-leipzig.de  
Web: www.notenspur-leipzig.de

「ライプツィヒ音楽軌道」のアプリ:  
[www.androidpit.de/app/com.ewerk.notenspur](http://www.androidpit.de/app/com.ewerk.notenspur)

銀行口座情報  
Notenspur-Förderverein e.V.  
DE98 8605 5592 1100 8042 06  
WELADE8LXXX

日本語訳協力: ライプツィヒ「日本の家」

2016年1月時点

## Leipziger Notenspur / ライプツィヒ音楽軌道

音楽軌道をたどってライプツィヒを探検してください!これほどまでに多くの著名な音楽家の足跡を簡単に辿れる都市は、世界でもただここライプツィヒだけです。例えばこのような発見があなたを待っています。

- › 多数のJ.S.バッハによる作品が初めて演奏された教会
- › F.メンデルスゾーンの最後の棲家
- › R.シューマンがクララとの結婚後、最初の一年を過ごした家
- › 世界最古のピアノを含む楽器のミュージアム
- › R.ワーグナーに率いられたセント・ニコラウス学校
- › R.シューマンと「ダヴィッド同盟」が定期的に会合していたコーヒーハウス
- › 旧市役所、ゲヴァントハウス、歌劇場などのライプツィヒの名所

歩道に埋めこまれた、カーブを描いたステンレス製のマークを一つ一つたどってください。またオーディオガイドシステムによってオーディオクリップと楽曲の一部を聴くことができます。これによって世紀をこえた音楽のライプツィヒのクリエイティブな雰囲気に浸ることができます。以下のマークがその目印です。



電話をかけることによってオーディオクリップを聴くことができます

ガイドの言語を示しています。<d>がドイツ語、<e>が英語です。



楽曲の一部を聴くことができます

お子様向けのオーディオクリップです

全行程の所要時間は、約3時間から4時間ほどです(ミュージアムの見学を除く)。お子様向けのパズルや情報満載の「ライプツィヒ音楽軌道 - 探検手帳」は、ツーリストインフォメーションにて取り扱っております。

それぞれのチェックポイントと「ライプツィヒ音楽軌道」、ミュージアムなどの開館時間に関する詳しい内容は以下のウェブサイトをご覧ください。